



地区の誇りつなぐ

町駅伝競走大会（関連記事 14ページ）



川内川大鶴ゆうゆう館 グランドオープン



10月31日、鶴田ダムに整備していた川内川大鶴ゆうゆう館の完成に伴い、国や県、自治体関係者や地元関係者など約80人が出席し、記念式典が行われました。

川内川大鶴ゆうゆう館は、前身の大鶴ゆうゆう館が鶴田ダム再開発事業の事業用地として利用されることから、移転新築したものです。電源開発株式会社と国土交通省の協力のもと、発電の仕組みを体験しながら学べる発電展示室と、ダム機能や川内川流域での激特事業による分水路と輪中堤などを紹介する川内川流域展示室を設置。レストランや観光案内所機能も備えた複合施設となっています。

オープニングセレモニーでは、しび保育園の園児が力強いやなせ太鼓を披露し、オープンを花を添えました。日高町長が「新しい施設は、観光施設と学習機能を備えた複合施設として生まれ変わり、名称も川内川大鶴ゆうゆう館と変更し、母なる川内川と鶴田ダムの学習・観光のミュージアムの施設となるよう期待している」とあいさつしました。関係者によるテープカットの後、最後は出席者全員で川内川大鶴ゆうゆう館の発展を祈念して万歳三唱が行われました。

ダム再開発事業の完了を間近にひかえ、新たな観光スポットとしての利用が期待されます。

★さつまるちゃんのご案内★

発電展示室

発電の仕組みや家庭に電気が送られるまでの経路などが展示されています。自転車をこいで発電体験も。目には見えない電気について分かりやすく学ぶことができます。



川内川流域展示室

鶴田ダムの歴史や治水効果、川内川の概要などが展示されています。ダム工事に用いた資材や工法の説明もあり、スケールの大きさを実感できます。



レストラン

工事完了後は鶴田ダムを眺めながら食事できます。人気の「ダムチャー」はチャーハンをダム型に盛り付け!こちらでも再開発中なので、今後も進化していくかも…。



【時 間】 9時～17時
※ランチは11時～14時
【電 話】 59-2522
【休館日】 火曜日

株式会社やさしいまち 動き出しています

地域が潤う仕組みを作るため、観光特産品協会や金融機関などと協議を重ね、平成28年11月に地域連携型のDMO「株式会社やさしいまち」が設立されました。

地域と協働したまちづくり

やさしいまちは「世界一やさしいまち 伊佐・さつま」をスローガンに、さつま町の「稼ぐ力」を広い視点で引き出し、地域と協働しながら、観光・特産品振興事業などの実施や調整を行っています。

DMOとは、地域と協働して観光地域づくりを行う法人のことです。やさしいまちは各地のDMOとは異なり、単なる観光ルートの開発にとどまらず、地域が潤うための仕組み作りまで手掛けることが特徴です。観光や特産品の開発を軸に、地域の人々がすにに取り組んでいる事業を支援し新たな起業も促します。「まち」そのものを元気にし、移住を促進し、人口減少に歯止めをかけることを目的としています。



やさしいまちの取組

多様な関係者と連携しながら、次のような取組で地域創生を目指します。

観光振興

観て終わる通過型の観光から体験型の観光への移行を目指し、各種ツーリズムの企画・検討を進めています。本町では、NPO法人ひつ翔べ!奥さつま探険隊や町グリーン・ツーリズム研究会などと連携して、大鶴湖や周辺の林道などを利用したトレッキングやスポーツクライミング、カヌーなどの体験プログラムを検討しています。

地域ブランディング

野草や薬草の文化に光を当て、身体にやさしい取組をまちづくりに取り入れる試みを計画しています。本町では、野草や薬草について詳しい方からの情報提供を求め、分布や利

地域経済の活性化

■販路拡大への取組

特産品を加工まで行い、お土産や取り寄せ商品としての需要を拡大する6次産業化を推進します。また、大消費地である大阪府で物産展を開催し、地域の生産者が直接販売を行うことで、マーケティング研修と人材育成につながる取組を行います。今年の3月と11月に大阪府で開催した「やさしい市」に町内の業者が参加し、加工品や郷土料理を販売しました。来場者アンケートの結果では、9割近い方に「さつま町に行ってみたい」と回答をいただきました。



県外での販路拡大の実績として、大阪の洋菓子店の工場に、こだわりのパウムクーヘンの原料に使用される新鮮で安全な町内業者の卵を出荷しています。また、大手百貨店では薩摩西郷梅の取扱いが始まりました。今後ますますの販路拡大を目指します。

■人材育成

「稼ぐ力」を高めるために、起業の仕方や事業活性化への実践的な指導を行います。11月に伊佐市商工会で「年商10億をかなえる経営塾」が開催されました。起業・事業家の出発点を考えることをテーマとしたもので、本町からも商工会青年部を中心に多数の経営者が参加しました。全4回の計画で、次回は2月に本町で行われる予定です。

情報発信

観光や特産品、イベントなど地域の魅力的な情報をやさしいまちのホームページやSNSなどで発信します。また、これらによって得られたデータから、マーケティング調査などを行い、効果的・効率的な事業展開の基礎資料として取組に活かしていきます。

ホームページ

<https://yasashimachi.co.jp>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/834Imachi>



介護度別のサービス利用者状況

■介護度別のサービス利用者の状況（単位：人）

区 分	サービス利用者（平成29年3月現在）						認定者数
	居宅介護	地域密着型	老人福祉	老人保健	療養型	合計	
要支援1	107	4	0	0	0	111	261
要支援2	101	5	0	0	0	106	195
要介護1	276	59	0	22	0	357	366
要介護2	185	48	5	19	0	257	260
要介護3	97	42	55	32	1	227	234
要介護4	50	31	109	41	4	235	250
要介護5	30	20	104	24	12	190	208
合 計	846	209	273	138	17	1,483	1,774
割 合	47.7%	11.8%	15.4%	7.8%	0.9%	83.6%	100%

資料「介護保険事業状況報告平成29年5月分」から ※認定者数は、平成29年5月現在

サービス利用者は、平成 29 年 3 月現在で、認定者の 83.6 %（1,483 人）です。また、認定者の 47.7 %（846 人）が在宅でのサービス（居宅介護）受給者です。

- 【サービス内容】
- ・地域密着型…グループホーム、小規模多機能施設、小規模なデイサービス
 - ・老人福祉…特別養護老人ホーム
 - ・老人保健…介護老人保健施設
 - ・療養型…介護療養型医療施設

介護予防事業

町では、総合事業を平成 28 年 4 月から開始しました。これにより要支援 1・2 の方で通所介護・訪問介護のみを利用している方は、総合事業へ順次移行しています。総合事業では、従来の要介護認定を省略し、基本チェックリストのみでサービスを利用できるため、迅速にサービスを利用できます。

総合事業の対象にならない元気高齢者向けのサービスも充実していますので、ご利用ください。

訪問型・通所型サービス B

対象：総合事業対象者や要支援 1・2 の方
各公民会などで、地域支え合い推進員を選出したうえで、地域での通所型サロンや訪問型生活支援などの住民主体の活動を行います。登録団体は委託料を受け取り、運営費などに充てることができます。

【お問い合わせ】
高齢者支援課 高齢者支援係（内線 2172）

訪問型サービス D（移動支援）

対象：総合事業対象者や要支援 1・2 の方
通院や買い物などの移動手段がない場合に限り、30 分 510 円で移動支援を行います。
【お問い合わせ】
・担当のケアマネジャー
・地域包括支援センター ☎52-4690

【お問い合わせ】 総合事業について…高齢者支援課 高齢者支援係（内線2172・2173）
介護保険について…高齢者支援課 介護保険係 （内線2174・2175）

一般介護予防事業

対象：65 歳以上の全ての高齢者
◆**住民主体型**：地域の通所型サロンなどで健康体操や食事会などをする場合、その団体に委託料をお支払いします。
【お問い合わせ】
高齢者支援課 高齢者支援係（内線 2172）
◆**事業所実施型**：事業所による元気高齢者向けの集いの場。フィットネス機器を利用した運動やレクリエーションなどを開催しています。
【お問い合わせ】
・特別養護老人ホームマモリエ ☎53-0026
・北さつま農業協同組合 福祉課 ☎21-3106

平成28年度総合事業の利用状況

区 分	通所型サービス B	訪問型サービス D	一般介護予防事業	
			住民主体型	事業所実施型
実施団体数	4	1	5	2
実利用者数	117	36	132	35

※訪問型サービス B の実績はありません。

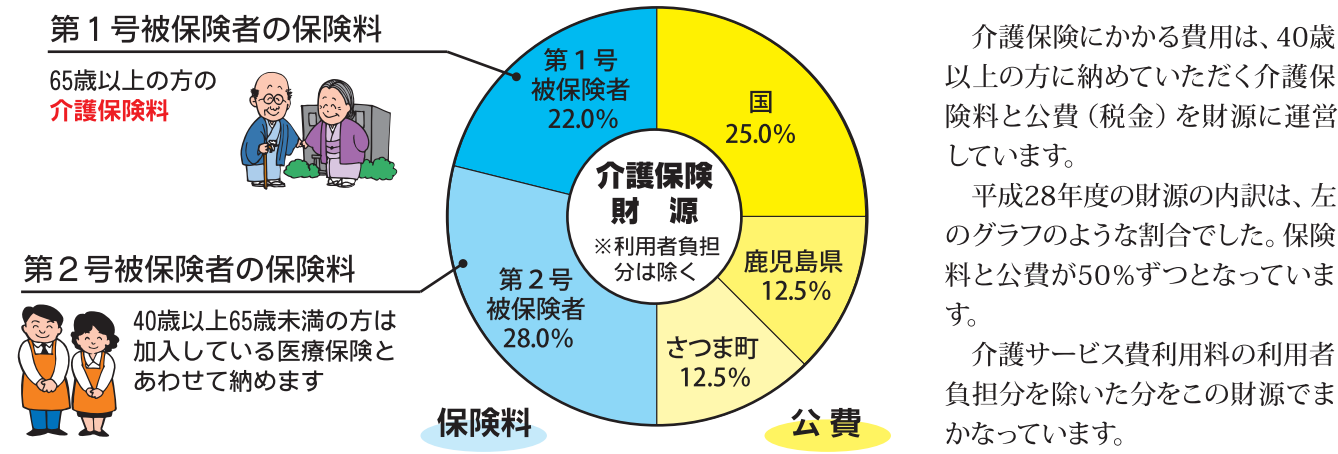
☆**送迎サービス補償保険**
サロンなどで送迎が必要な方に対し、サロンの運営者などが送迎サービスを安心して行っていたくため、送迎に係る傷害保険料を町が負担します。

介護保険事業の状況

（平成28年度年報）

介護保険事業は40歳以上の方が加入者（被保険者）となって保険料を出し合い、介護が必要になったときに、介護サービスを利用できる制度です。

介護保険の財源



計画的な運営を実施

第6期介護保険事業計画（平成 27 年度から 29 年度）の2年目であった 28 年度は、介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」）や在宅医療・介護連携推進事業、認知症初期集中支援推進事業に取り組み、関連する要綱などの制定や事業所指定事務などを実施しました。

総合事業の開始に伴い、予防給付の訪問介護及び通所介護が地域支援事業に移行した影響もあり、保険給付費が前年度対比で 3.7 % の減少、地域支援事業費は 140.8 % の増加となり、計画の範囲内で運営を行うことができました。

■65歳以上 第 1 号被保険者（人数は各年度末現在）

年 度	第 1 号被保険者数	前年度比
26年度	8,510人	+ 76人
27年度	8,513人	+ 3人
28年度	8,493人	－ 20人

■決算額

	27年度	28年度
歳入総額	32億7,824万4千円	33億1,981万3千円
歳出総額	31億4,191万7千円	31億4,780万1千円
実質収支	1億3,632万7千円	1億7,201万2千円

■保険給付費の支出状況

区 分	28年度
介護サービス費（要介護1～5）	25億4,306万4千円
居宅サービス費	7億9,167万6千円
施設サービス費	13億1,259万2千円
地域密着型サービス費	4億3,879万6千円
介護予防サービス費（要支援1・2）	7,399万2千円
居宅予防サービス費	6,415万7千円
地域密着型サービス費	983万5千円
審査支払手数料	210万8千円
高額介護サービス費	8,724万6千円
特定入所者サービス費（低所得者への食費・部屋代補助金）	1億6,621万4千円
保険給付費合計	28億7,262万4千円

本町の介護認定状況（平成29年3月末現在）

■認定率（65歳以上に占める割合）……………20.8%

■認定者の内訳

- ・後期高齢者（75歳以上）……………92.9%
- ・前期高齢者（65～74歳）……………6.2%
- ・第 2 号被保険者（40～64歳）……………0.9%

あなたの医療費

見直してみませんか？

本町の国民健康保険の状況についてお知らせします

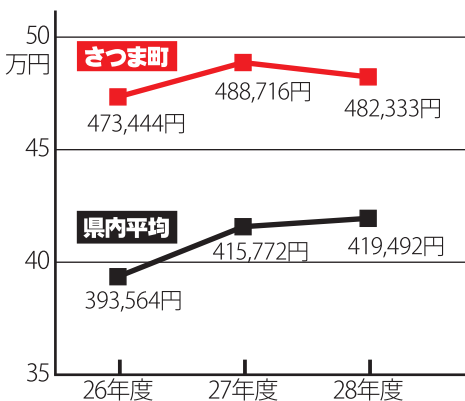
本町の一人あたりの医療費
約48万2千円（平成28年度）

平成28年度の国民健康保険総医療費は、27億7,245万円余りとなっており、前年度と比較すると5.1%減少しています。しかし、一人あたりの医療費は、48万2,333円で県内市町村平均の41万9,492円を大きく上回っています。（図1参照）

原因として、生活習慣病の増加、医療技術の高度化、高齢人口の増加、同じ病気で重複受診などが考えられます。

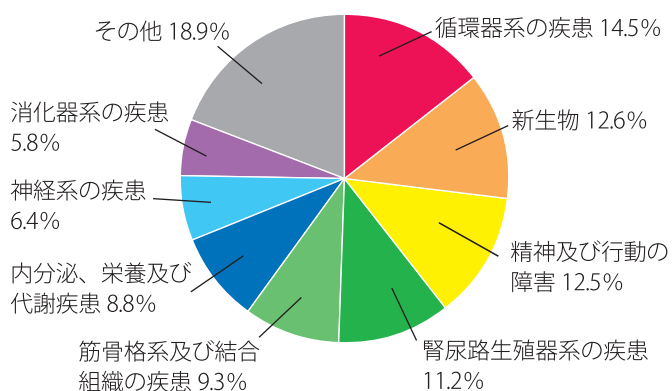
疾病分類別 医療費の状況

平成28年3月診療から平成29年2月診療分の医療費について、大分類疾病ごとに見てみましょう。（図2参照）



【図1】一人あたりの医療費

- 1位 循環器系の疾患
高血圧、脳卒中、心臓病など
 - 2位 新生物（腫瘍）
各部位のがん
 - 3位 精神及び行動の障害
統合失調症、うつ病など
 - 4位 腎尿路生殖器系の疾患
腎不全、尿路結石症など
 - 5位 筋骨格系及び結合組織の疾患
各関節の疾患・神経痛など
- なお、患者数については、循環器系の疾患が最多ですが、それ以降の順位は必ずしも医療費とは一致しません。



【図2】疾病分類（平成28年3月～平成29年2月診療）

あなたもできます
医療費を抑える6か条

1. 重複受診はやめましょう
検査や処置をやり直すため、医療費のムダ使いになります。
2. 診療時間内の受診を心がけましょう
急患の場合は別として、時間外受診は加算料金もつき、医師の負担にもなります。
3. かかりつけ医をもちましょう
病歴や体質など把握してくれているため治療効果も上がります。
4. 定期的な健康診断（特定健診）を受けましょう
病気の早期発見・早期治療を心がけましょう。
5. 毎日の健康管理に努めましょう
食事・睡眠・運動など規則正しい日常生活を送りましょう。
6. ジェネリック医薬品を活用しましょう
医師・薬剤師に相談して変更可能であれば、経済的なジェネリック医薬品の処方をお願いしましょう。



■お問い合わせ先
保健福祉課 保険係
（内線2133）

まち・ひと・しごと 創生総合戦略 第2回推進委員会を開催

11月6日、さつま町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会が開催され、実施中の事業について意見交換を行いました。委員から質問や意見のあったものを、分野ごとに抜粋してお知らせします。

若い世代が芽吹く さつま町で産み、育てる

産後ケア事業の状況は？

助産所と委託契約し、産後ケア応援券を発行。28年度の契約施設数21か所、応援券交付82人、延べ利用者61人。契約施設数については、31年度の目標値を大幅に達成している。

薩摩中央高校の入学者が増加しているが、町内と町外どちらが多いのか？

29年4月の入学者は101人と増加。町外からの入学者の方が多く、町内向けの取組について検証が必要。

町内の企業も大学のインターンシップに取り組み、興味から就職につなげてほしい

インターンシップに取り組んでいる企業もあり、ものづくり企業振興会と進路指導担当教諭との意見交換会も開催している。学校の協力を得ながら、町内への就職者を増やしていきたい。

地域の幹となる産業を育む さつま町で働く

物産館の販売額の状況は？

5億2千9百万円と目標を上回っている。接遇研修などを行い販売促進にも取り組んでいるので、必要に応じて目標を上方修正していきたい。

人々がふれあい、にぎわい、観光交流の花咲くさつま町に住む

温泉の利用促進は？

温泉ガイドブックの配布やポスター作成などによりPRしてきた。今後はイベントによる活性化にも取り組みながら入込客数の増加につなげたい。

合宿受入で集客につなげてほしい

温泉施設は対象を個人客に転換している。白男川小学校跡は合宿所として整備を進める。

いろいろな豊かな成熟した さつま町で学び、暮らす

サロン事業の状況は？

28年度のサロン設置数は108団体と増加。地域支え合い推進員のいる地区から、住民主体の総合事業型へ切り替えていきたい。

外部評価委員会の意見がまとまりました

町民の意見を事業に反映させるため、7人の委員からなる外部評価委員会が、町の事務事業の効果的な実施方法などを検討してきました。今年度は3回開催され、5つの事業に対して評価が行われました。

障害者相談支援事業

【事業内容】障がい者などからの相談に応じ、情報提供や援助を行うことで自立に向けて支援する事業

【総合評価】障がい者への相談支援は重要。悩みを抱えた方がきちんと利用できるように事業の周知を。家庭への訪問相談など、幅広い相談に対応でき、より相談しやすい体制づくりが必要である。

緊急通報体制整備事業

【事業内容】在宅の独居高齢者や身体障がい者などに対し、緊急時に迅速かつ適切な対応を図り安心安全の確保を目的とする事業

【総合評価】地域での見守りには限界があり、孤独死などの問題に対応するため必要な事業。民生委員などの会合で、制度の内容を時間をかけて詳しく説明してほしい。また、町民に広く理解してもらう必要がある。

特産振興対策事業

【事業内容】町が指定する重点・推奨作物に対して支援をすることで生産性の向上や定着化を図る事業

【総合評価】補助要件などの再設定や生産について成果指標を設定するなど、支援に対して効果を確認できるように制度を検討する必要がある。

「ハブ・ハム・メン・タン」推進事業

【事業内容】スポーツ合宿を軸として町への入込者の増加を図る事業

【総合評価】交流人口を増やすために必要な事業である。重要案件としてオールさつまで取り組み、経済効果など相乗効果を期待したい。

「さつまの日」推進事業

【事業内容】さつまの日（毎月第3土曜日「青少年育成の日」と第3日曜日「家庭の日」）に町総ぐるみで青少年健全育成の意識を持ってもらう事業

【総合評価】事業の目的は理解できるが、認知度や定着度が低い。少子化により毎月の取組が難しい地域もある。事業内容についても抜本的に見直すべきである。

さつま町の食品加工者にフォーカス⑥

広めたい！美味しいさつま

「里山の味」 久徳スミ子さん



昭和48年からあくまき、のし餅、乾燥椎茸などの加工食品を製造。平成27年に里山の味を立ち上げ、現在は自家栽培の野菜を使用したドレッシングも製造しています。



45年前に京都の朝市でつくたてのやわらかいお餅が販売されているのを見て、私もやってみようと思ったことが食品加工をはじめたきっかけです。

長年続けていくうちに、リピーターのお客様や材料提供してくれる方々とのつながりもたくさんできました。自分で作った野菜や加工食品を美味しいと言ってもらえるのがうれしく、作る励みになります。

今後も食品加工の仲間の支えに感謝しつつ、オリジナルの新商品を開発したいです。

目指せ！さつま町の名物 ～町の魅力がつまった新商品のご紹介～



町内産
黒餅使用

工房七草 「黒餅甘酒」

森山健二さん、百合子さんご夫妻で平成26年から工房七草を開始。素材や製法にこだわった商品を作っています。

黒餅甘酒は、黒餅が固く、酵素が壊れないぎりぎりの温度を保つことが非常に難しいですが、試行錯誤の末、なめらかで風味豊かに仕上がりました。

現在、黒餅甘酒は町内の直売所や鹿児島市のおいどん市場などで販売しています。ミネラルや食物繊維が豊富な町内産の桑茶を配合した「桑茶甘酒」や、香り豊かな「シナモン甘酒」もおいしいと、こちらも大人気。



ホントは怖い！脂質異常症

血中のLDLや中性脂肪が過剰、あるいはHDLが不足している状態を脂質異常症といいます。診断されても痛くもかゆくありません。しかし、放置するとじわじわと動脈硬化が進み、ある日突然、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞などが現れます。自覚症状がないため、予防・改善には、血中の脂質を数値で確認し、コントロールに努めることが重要です。

コレステロールとは

コレステロールは脂質の一種。細胞の膜となり、ホルモンや消化吸収に関わる胆汁酸の材料にもなります。約7割は体内、主に肝臓で合成され、残り3割が食物由来です。LDLとHDLの2種類があり、必要以上に増えると血管内に沈着して動脈硬化を招くLDLは悪玉、余分なコレステロールを回収するHDLは善玉と呼ばれます。

コレステロールは油断大敵！

健康や人間ドックで「コレステロール値が高い」と言われたことはありませんか。それ自体が病気とは認識されないため、気にしない方も多いですが放置してはいけません。

予防・改善のポイント

○伝統的な和食が一番！
血中の中性脂肪が増えると、LDLが増え、HDLが減少します。血中の中性脂肪やコレステロールの濃度を上げにくい油脂が豊富なのが魚介類。そのため、「カロリー控えめで魚をしっかりと食べる日本食」をベイスにすることが推奨されます。

○有酸素運動でHDLが増える！
HDLを増やすために最も効果的なのが有酸素運動です。「歩く」という意識をもって生活するだけでも良い変化が現れます。忙しくて時間がない方や、膝や腰に痛みがある方は、座ったままできる簡単な運動でも効果が期待できます。

○たばこは全身の血管を老化させる
喫煙はHDLを減少させ、LDLを増やし、動脈硬化を悪化させます。禁煙して心筋梗塞などのリスクを減らしましょう。

お問い合わせ先

保健福祉課 健康増進係
(内線2137)

一人で悩んでいませんか？

かけがえのない一人一人の大切な命
みんなを守っていきます。

町長と語る会を開催 女性の意見を町政に

10月24日、町長と語る会が開催され、町女性団体連絡協議会の内村正子会長ほか会員41人が参加しました。7回目を迎えた今回は、主に教育・環境について意見交換が行われました。

参加者からは、中学校再編に向けた学習環境、小学校再編後の児童の様子、生ごみの分別収集、災害時の食糧備蓄などについての質問と、中学校再編に向けたスクールバスについての要望が出されました。初めて参加した方からは、「とても勉強になった」「このような機会があればまた参加したい」などの感想が述べられました。

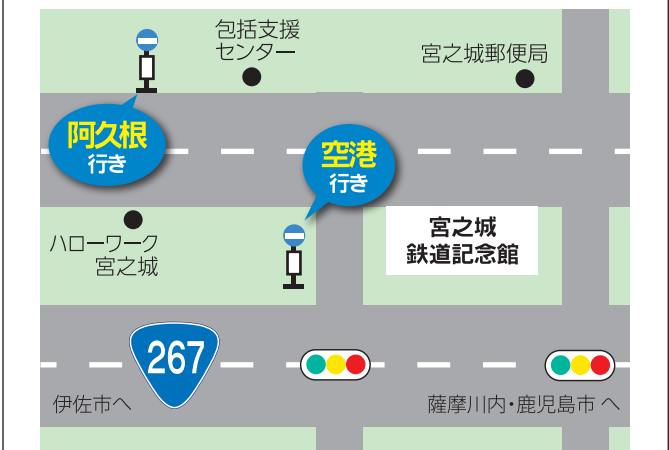


直接意見を交換できる場で活発な意見が出されました

鹿児島空港連絡バス 阿久根行きの停留所が移設

12月1日から、鹿児島空港連絡バス阿久根行きの宮之城停留所が宮之城鉄道記念館から移設されました。阿久根行きの新しい停留所は、地域包括支援センターの横になります。運行は9時59分の始発から19時59分までは毎時59分に、最終便のみ22時04分に停車します。

鹿児島空港連絡バスは、すでに移設された空港行きとあわせ、鉄道記念館には停車しませんのでご注意ください。



道路の早期完成・整備に向け 県へ要望書を提出しました

10月23日、北薩横断道路の早期完成と未着手区間の早期事業着手について、北薩空港幹線道路整備促進期成会が、岩切剛志副知事ほか県関係者に対して要望書を手渡しました。

北薩横断道路は、災害時の救急輸送や農水産物の円滑な輸送経路として重要な道路です。県からは「未着手区間は、ルートの検討や調査を事業採択に向けて進めている。まずは着手している箇所を早く完成させて事業効果を発揮させる」との回答がありました。また、同日、国道328号整備促進期成会の要望も行われ、児島優一土木部次長や関係課長などに対し、本町下船木地区から国道504号インター間の整備促進などを要望しました。県からは「整備効果や緊急性等を勘案しながら今後も検討課題としたい」との回答がありました。



岩切副知事（右）に対して要望書を提出しました

かごしまエコファンド制度 取組状況をお知らせします

「かごしまエコファンド制度」とは、事業所などが自ら削減できない二酸化炭素排出量分を、間伐などの森林整備による削減活動に投資することによりその埋め合わせをする仕組み（カーボン・オフセット）です。

町では、町有林の間伐を行い325トン分の二酸化炭素吸収量の認証を受け、次の事業者による一部を購入していただきました。

株式会社 有川組

この販売代金は、物産館の室内灯や外灯、防犯灯のLED化など地球温暖化対策に活用します。

※詳しくは、かごしまエコファンドのホームページ（<http://kagoshima-ecofund.jp>）か、役場耕地林業課林業振興係（内線 2432）までお問い合わせください。

泥んこになってボールを追う

10月15日、白男川地区の田んぼで町青年団主催の泥んこバレー 2017が開催され、町内外から13チーム79人が参加しました。小雨の中、各チーム泥だらけになりながら、雨雲を吹き飛ばすようなはつらつとしたプレーがみられました。鹿児島市から3年連続参加した準優勝チームの参加者は「バレー経験がなくても誰もが楽しめる。これからも参加したい」と感想を述べました。



ぬかるみに苦戦しつつも楽しくプレーしました

映像で伝える町の魅力

10月13日、第16回KKBふるさとCM大賞の審査会が鹿児島市のアミュ広場で行われました。過去最多の33団体が参加し、本町からは「浪漫竹はここにある」と題した作品を出品。竹取物語を題材に、美しい竹林が育む愛が定住へとつながる様子を表現しました。受賞は逃しましたが、参加賞としてKKBで10本放送されます。CMは、町ホームページからもご覧になれます。



30秒の間に町の魅力を伝えました

人がかがやく町を目指して 標語とポスターで人権啓発

本町は、平成27年度から本年度まで、文部科学省の人権教育総合推進地域事業の指定を受けています。12月の人権週間にちなみ、町内の児童生徒から人権啓発の標語とポスターを募集しました。審査の結果、特選に選ばれた作品を紹介します。（敬称略）



永野小1年 川口 心香



中津川小2年 楠元 乃彩



流水小3年 市山 希音



鶴田小4年 大野 夢果



求名小6年 山崎 壮祐



宮之城中1年 柳田 珠央



鶴田中2年 宮脇 叶佳



山崎中3年 長濱 実生

- 盈進小2年 川之上 百音
「だいじょうぶ？」 やさしいことば うれしいな
- 山崎小4年 桑園 せいか
ちがってる？ ちがうよ それが こせいだよ
- 流水小6年 四元 結
きずついた 心にひびく きみの声
- 宮之城中3年 木ノ下 葉月
思いやり 人から人へ バトンパス

新 地域を盛り上げる新しい経営者 規参入者に補助金交付

10月27日、町長応接室で商工業新規参入者支援補助金交付決定通知の交付式が行われました。

この補助金は、商工業の新規参入者に町から補助金を支給し支援するもの。町長から飲食店経営の片山和久さんと雑貨店経営の小緑鮎香さんに決定通知書が授与され、商工業繁栄に期待をこめた激励の言葉が贈られました。片山さんは「経営を通じて地域貢献を行いたい」、小緑さんは「心温まるお店にしたい」と抱負を述べられました。この制度では、平成17年の開始からこれまでに35人の方へ補助金を交付しています。



新たに経営を始められる片山さん（中央左）と小緑さん（同右）

全 サーキットを轟音で走り抜ける 日本ロードレースで奮闘

11月5日、三重県の鈴鹿サーキットで2017 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦が開催されました。本町出身でさつま観光夢大使の徳留真紀選手がJ-GP2クラス決勝レースに出場され、さつまちゃんも応援へ駆けつけました。結果は第10位と入賞を逃しましたが、厳しい状況下でも最後まで諦めず前を追い続け、最終周で抜き去る渾身の走りで観客を魅了。徳留選手は「さつまちゃんと一緒に故郷をアピールできて良かったです。来年は表彰台の常連となれるようにがんばります」と話されました。



前を見据えコーナーを攻める徳留選手

おいしくてバランスの良いお弁当で力をつけてください



新 アスリートを食でサポート しいさつま弁当が完成

10月26日、町長応接室で町商工会の弁当部会が開発した「さつまちゃん弁当スポーツバージョン」の完成報告が行われました。これは、アスリートの食に関するサービスを行っている株式会社KAGO食スポーツの管理栄養士に監修を依頼し、競技者が安心して練習や試合に臨めるようにと開発したもの。消化の良いものやバランスのとれた献立で、税込500円で販売されます。お買い求めの際は町商工会（☎53-1141）までお問い合わせください。

集めたキャップで多くの命が救われることを期待します



想 ワクチンに代えて海外へ届け いを込めた多くのキャップ

11月1日、柏原小学校で、プラッセだいわ宮之城店からペットボトルキャップの贈呈が行われました。同校では、全校でキャップの収集活動を実施。5年生の上川畑未来さんは「ペットボトルのキャップがワクチンになり、たくさんの人の命が助かればうれしいです」と感謝の言葉を述べました。贈呈されたキャップは同店で集められた約3か月分に相当。同店では、インクカートリッジやプルタブなども町内の学校などに寄付しており、新改照夫店長は「子どもたちの役に立てればうれしく思います」と話されました。

認知症と共に生きる町を目指して 学び考える

11月11日、薩摩農村環境改善センターで「にんち症と共に生きる」の大会テーマのもと、第4回認知症フォーラム in さつま町が開催されました。

開会行事では、認知症サポーターの大野文代さん、河野弘子さん、宮本フクミさん（紫尾）に感謝状を贈呈。3人はマスコットキャラクターであるロバ隊長のグッズを多数製作され、認知症サポーター養成講座の普及啓発に大きく貢献されました。その後、町の認知症施策の取組として、認知症疾患医療センター宮之城病院の新門弘人院長による出前講座の様子や、町地域包



「人を支えるということは人に支えられること」と話す藤川さん

感謝状を贈呈された認知症サポーターの宮本さんと大野さん（右）



括支援センターなど町内6か所で開催している認知症カフェの様子などが紹介されました。基調講演「支える側が支えられるとき」では、詩人で児童文学作家の藤川幸之助さんが登壇。認知症関連の本も多数執筆されている藤川さんによる母親の介護体験談に、来場者は笑ったり涙ぐんだりしていました。講演後には、藤川さんの詩を求名小学校6年生が朗読。認知症のことを参加者みんなで考える良い機会となりました。

川薩地区代表の宮之城中学 駅伝で快走みせる

11月9日、平成29年度鹿児島県中学校駅伝競走大会が指宿市で開催されました。9月に行われた川薩地区大会で男女ともに優勝した宮之城中学校が、地区代表として出場。日頃の練習で培った力を本番でも大いに発揮し、懸命に襷をつなぎました。結果は次のとおりです。

男子（6区間20km）39チーム出場

第11位 宮之城中学校……………1時間06分28秒

女子（5区間12km）39チーム出場

第3位 宮之城中学校……………42分34秒



男女ともに健闘した宮之城中学校

「大きいお芋がとれたよ」と誇らしく見せてくれました



秋晴れの下 大きな収穫に歓喜 ツマイモ収穫に園児が参加

11月11日、柏原地区にある薩摩中央高校の実習農場でお芋の収穫祭が開催されました。宮之城ロータリークラブと、同校の農業クラブであるインターアクトクラブが主催し、町内の幼稚園・保育園から約300人が参加。大きなサツマイモに悪戦苦闘しながらも、園児からは大きな歓声が上がっていました。3年生で同クラブの部長を務める若松恒助さんは「草払いなど大変でしたが、子どもたちの笑顔を見られたことが何よりうれしいです」と感想を述べました。

各校が集い音楽発表 中学生がハーモニー奏でる

11月8日、第13回町小・中学校音楽発表会が宮之城文化センターで開催されました。子どもたちは、竹太鼓など様々な楽器による演奏、ボディパーカッション、息の合った合唱など、これまでの練習の成果を披露。会場には保護者や地域住民など多くの人が訪れ、各学校の子どもたちの素晴らしい歌声や演奏に引き込まれていました。



①様々な楽器を奏でる盛進小児童 ②竹太鼓をたたく流水小児童 ③山崎中生徒による美しいハーモニー

～輝け文化の祭典inさつま～ 文化協会3支部がそれぞれの文化祭で作品披露

町文化協会の3支部（薩摩・宮之城・鶴田）の文化祭が、10月下旬から11月にかけて開催されました。展示発表では、陶芸や生花、写真などが展示され、来場者は心のこもった作品に見入っていました。

舞台発表では、華麗な舞踊やダンス、三味線や太鼓の力強い演奏、美しいコーラスなど多くの団体が日頃の練習の成果を披露。客席からはあたたかい拍手が送られました。



和紙絵画 旬彩（薩摩支部）



紫州会（宮之城支部）



神子押し花 野の花会（鶴田支部）



津軽三味線高橋静礼会（薩摩支部）



装道会（宮之城支部）



五ツ太鼓小牟田流 杉元道場（鶴田支部）

第900点の力作集まる 13回さつま美術展

11月15日に審査会を行い、入賞作品が決定しました。テーマ部門と自由部門の2部門で、園児から一般まで900点の応募がありました。

入選以上の受賞作品は、12月22日まで役場本庁1階町民ホールに、1月は宮之城文化センター本館ロビーに展示しておりますので、ぜひご覧ください。最優秀賞受賞者は次のとおりで、2月開催の町民大会で表彰されます。(敬称略)

【テーマ部門】



恵光保育園年中 徳留 妹紅
「文化祭で竹太鼓をたたいた」

【自由部門】



柏原小1年 上川畑 心海
「うなぎさん げんきでね」

保 児童生徒が幼児とふれあい 育体験で家庭の大切さ学ぶ

11月4日、18日、25日に、町内11の保育園などで、一日保育体験講座が行われました。これは、児童生徒に乳幼児とのふれあいなどを通して、家庭や子育ての大切さについて理解を深めてもらうため毎年行われています。今回は、さつまふるさと体験塾生のほか、町内の中学校と薩摩中央高校の希望者など46人が参加。鶴田小学校4年の井上志乃さんは「子どもたちのけんかを止められなくて残念だった。次は止めてあげられるように自分が成長したい」と感想を述べました。



園児とふれあいながら保育を学びました

小中学生も参加し、平和への祈りを引き継ぎます



戦 未来の幸せを願って 没者に追悼の祈り捧げる

11月17日、町戦没者追悼式が鶴田中央公民館で開催されました。遺族会員や公民館長など約110人が参列。町遺族会宮之城支部長の脇ミル子さんが「尊い命を捧げられた英霊を末永く顕彰していくことは遺族会の一つの責務。存続に努めていきたい」と追悼のことばを述べました。平和作文コンクールで入賞した小中学生5人も献花。最優秀賞の永野小学校6年黒田諒也さんは「幸せなニュースに」とつづった作文を朗読し、平和への想いを伝えました。

左から前園さん、報告に訪れた松元さんと本村さん



バ 県代表として羽ばたけ！ レーの全国大会へ向け意欲

今年で31回目を迎える全国都道府県対抗中学バレーボール大会（JOCジュニアオリンピックカップ）に、鹿児島県選抜として、鶴田中学校3年の松元夢香さん、本村諒子さん、山崎中学校3年の前園若菜さんが選ばれました。3人は週末に行われる合同練習を積み重ねて全国大会へ挑みます。11月24日には、松元さんと本村さんが町長を表敬訪問し「日本一を目指して頑張りますので、応援をよろしくお願いします」と抱負を述べました。同大会は、12月25日から28日まで、大阪市中央体育館を中心に開催されます。

思 宮之城北部Aが新記録で3連覇 いを込めて樺つなく

11月12日、第13回町駅伝競走大会が、町内17区間28.15kmのコースで行われ、各地域から9チーム153人の選手が熱戦を繰り広げました。

終盤まで首位をキープしていた宮之城屋地船木を宮之城北部Aが猛追。最後は区間ごとに首位が入れ替わる展開となりましたが、宮之城北部Aがこれを制し、3年連続4回目の優勝に輝きました。今回新設されたBクラス優勝は薩摩、躍進賞は宮之城ほたるBでした。1本の樺を懸命につなぐ姿に、沿道から熱い声援が送られていました。

■総合順位（構成）

- ①宮之城北部A……………**新**1時間35分48秒
(虎居、柊野、平川、白男川、泊野)
 - ②宮之城屋地船木(宮之城屋地、船木)……………**新**1時間36分03秒
 - ③宮之城ほたるA(時吉、湯田、佐志)……………1時間40分10秒
 - ④薩摩(求名、中津川、永野)……………1時間41分34秒
 - ⑤鶴田A(鶴田、神子、柏原、紫尾)……………1時間41分55秒
 - ⑥宮之城山崎(山崎、久富木、二渡)……………1時間42分16秒
 - ⑦宮之城ほたるB……………1時間47分49秒
 - ⑧宮之城北部B……………1時間48分56秒
 - 一鶴田B……………1時間48分49秒
- ※Bチームの構成はAチームと同様、鶴田Bはオープン参加。



見事3連覇を果たした宮之城北部チーム

間 近での人形劇鑑賞に熱中

市町村による青少年劇場事業の一環で、10月23日に鶴田、24日に薩摩の中央公民館で人形劇団クラレテによる「いえでででんしゃ」が上演されました。母親にしかられた主人公が、家出した子どもしか乗れない不思議な電車に乗って家出をするストーリーで、幼稚園児や小学生など約540人が鑑賞。子どもたちは、間近で見る生の演技の迫力に引き込まれていました。



電車がどこへ向かうのか子どもたちもドキドキ



■区間賞（敬称略）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| ①淵之上 佑樹(屋地船木) | ⑨上浦 香織(ほたるA) |
| ②中須 瑠菜(屋地船木) 新 | ⑩西田 風迦(北部A) |
| ③酒匂 雄大(北部A) | ⑪段 勇樹(薩摩) |
| ④中島 太陽(山崎) | ⑫沖田 萌々(屋地船木) |
| ⑤井上 悟(鶴田A) | ⑬新屋敷 啓宏(ほたるA) |
| 高岩 宗浩(屋地船木) | ⑭西田 天迦(北部A) |
| ⑥増穂 淳(北部A) | ⑮木原 圭介(北部A) |
| ⑦曾木 大士朗(屋地船木) タイ | ⑯重森 朝陽(屋地船木) |
| ⑧祝迫 湧士(北部A) | ⑰齋藤 将輝(ほたるA) |

■出場表彰（敬称略）

- 5回：江夏 聖也、福永 隆成、東 丞仁、福島 泰幸、原 賢二、齋藤 将輝、中山 きらり
10回：假屋原 亮、崎本 政豪、木原 圭介

文 化財保存・活用に尽力し表彰

11月2日、県庁教育委員会室で行われた平成29年度鹿児島県文化財功労者表彰式で、文化財保護審議会委員の野崎正寛さんが表彰されました。

野崎さんは、平成12年から宮之城町文化財保護審議会委員、町文化財保護審議会会長や委員を歴任。郷土芸能の映像記録や、文化財の保存・活用に尽力され、地域文化の振興に貢献されました。



表彰を受ける野崎さん（右）



夜の図書館でおはなしと音楽を楽しみました♪

10月27日の午後7時から、こども図書館～えほんの森～でおはなしコンサートを開催し、約170人が参加しました。ハーモニカやバイオリン演奏、合唱などのほか、全日本歌唱力選手権で優勝された盈進小学校の坪田俊一教諭による独唱も披露されました。秋の夜、ゆったりとした雰囲気の中で、おはなしと音楽を楽しんでいただきました。



①読書ボランティア「さつま本読み隊」による息の合った合唱
②坪田先生の透き通るような歌声を披露
③④ハーモニカやバイオリン演奏と絵本のコラボレーション

おはなしの部屋 スペシャルを開催します!

クリスマスのお話をたくさん準備してお待ちしております。赤ちゃんから小学生まで楽しんでいただけますので、ご家族やお友だち同士でぜひお越しください。

- ★と き：12月23日（土）
午前10時から1時間程度
- ★ところ：こども図書館～えほんの森～
- ★内 容：絵本や紙芝居の読み聞かせ、
パネルシアターなど



年末年始の休館日のお知らせ

- 【休館日】
平成29年12月29日（金）から
平成30年1月3日（水）まで

町内全ての図書室が休館となります。休館中の本の返却は、図書室入口に設置してありますブックポストをご利用ください。来年も多くの方のご来館をお待ちしております。

オススメの 新着本

※11月の新着本は3図書室合計で192冊です。
詳しくは各図書室へお尋ねください。
（出版社の了承を得て掲載しております。）

【鶴田中央公民館図書室】



**大人かわいい
華やかカラー切り絵**
平石 智美 著
（メイツ出版）【一般向】

塗り絵のような楽しさが魅力のカラー切り絵。花や女の子などかわいいうちのモチーフを集め、切り方や色づけのポイントを紹介。はじめてでもコツがわかり、夢中になってしまうこと間違いなし!

わすれんぼうの サンタクロース

中川 ひろたか 作/中川 貴雄 絵
（教育画劇）【絵本】

プレゼントを忘れてきた?! こんなサンタさんが来たらどうしましょう。でも、陽気でゆかいなわすれんぼうのサンタさんにちょっと会ってみたいですね。



【屋地楽習館図書室】



ベスト・エッセイ 2017
日本文藝家協会 編
（光村図書出版）
【一般向】

生きていく あなたへ

日野原 重明 著
（幻冬舎）
【一般向】



【こども図書館～えほんの森～】



くませんせいがねているうちに
すとう あさえ 文
たかくわ こうじ 絵
（ハッピーオウル社）
【絵本】

すっぱりめがね

藤村 賢志 作
（教育画劇）
【絵本】



【お問い合わせ先】・教育委員会 社会教育課 ☎53-1111（内線2531）・こども図書館～えほんの森～ ☎57-1202
・鶴田中央公民館図書室 ☎53-1111（内線4412）・屋地楽習館図書室 ☎53-1994

人物探訪

9

みちかわうち

つよし

（1931～2008）



が公民館の外まで聞こえていました。また、在職中は、川薩地方を統治した渋谷一族と鶴田氏とが壮絶な争いをした鶴田合戦についてまとめた「鶴田合戦由来記」や、江戸時代に書かれた古文書を自ら口語訳した「祁答院記読本」と「宮之城記読本」を著すなど、郷土史の調査研究にも力を注ぎました。

道川内丁氏は昭和6年、伊佐郡羽月村に生まれました。県立大口高等学校卒業後、法政大学文学部日本文学科に進み、卒業後は郷里で小学校教諭となりました。各地の小学校で34年間勤務し、昭和55年には鶴田小学校の教諭も務めました。教師としてのモットーは、「勤務した学校に何かを残したい」「勤務した学校に胸を張って訪問できる教師に」「いてもいいなくてもいい教師にはならない」でした。

平成5年4月から鶴田町社会教育課指導員として勤務。町民から慕われ、担当した老人大学には多くの参加者が集い、にぎやかな話し声や歌声

平成17年3月で退職し、退職後は趣味のカメラやドライブを楽しみました。郷土史の調査研究も意欲的に取り組み、平成19年には伊佐地域の郷土史料「両院書徴」を全編解説して現代語に訳しました。史跡探訪でガイドを務めれば、歴史上の人物を愛称で呼ぶなどユーモアあふれる名ガイドぶりで知られました。

晩年は肺がんを患い、骨への転移による激痛で歩くこともできませんでしたが、平成20年2月に行ったガイドでは、車いすに座り、痛みに耐えながらもいつものように笑顔で説明しました。この日が最後の仕事となり、同年4月、76歳でその生涯に幕を閉じました。

知って得する

頼りになります! 消費生活の力強い味方

今回は、様々な集まりで、詐欺や悪質商法にあわないための知恵やヒントを伝える活動を自主的にされている、3人の方をご紹介します。

笑って学ぼう、楽しく寸劇

小緑 絹代さん（湯田）写真右
谷山 章子さん（鶴田）写真左

消費生活講座でおなじみの寸劇をもっと楽しく広めようと活動している小緑さんと谷山さん。先日、宮之城ひまわり館で行った劇の題材は、セールの来たる営業の人に優しくされて、高額な商品を購入してしまったという消費生活のトラブル。笑いを誘う鹿児島弁が飛び交うお二人の掛け合いで、いつの間にかクーリングオフについて学ぶことができます。

トラブル防止の標語を、ワンちゃんのカレンダーを使ったかわいいうちのステッカーにするなど分かりやすいように工夫されています。観て聴いて楽しめる講座にとても感心させられました。



引っぱりそうになった?! 自分の体験をみんなに

新納 福蔵さん（虎居）

「電話代が安くなりました。」そんな電話に興味を持ち「引っぱりそうになった」とおっしゃる新納さん。日頃からインターネットなどで、消費生活に関する新しい情報を積極的に取り入れています。

新納さんはご自分の経験をもとに、トラブルに巻き込まれないように伝えようと、アルテンハイム鶴宮園の「オレンジカフェ」で、消費生活講座で聞いたことを出席できない人たちに発信しています。カフェでは「だまされ度チェック」をしたり、もしもしかめよりのリズムに合わせてハツキリと契約を断る「断り方の歌」などをみんなが歌ったりしています。

「繰り返しが大事」とおっしゃる新納さんは、今後もオレンジカフェで消費生活トラブル防止の活動を行う予定です。



■相談窓口のご案内（相談無料・秘密厳守）
電話相談の場合 ☎（53）1111

・来庁の場合 ↓ 役場2階商工観光課商工振興係へ（エレベーターもあります）
・土日の相談は消費者ホットライン ☎188 泣き寝入りはいややへ ☎53-188

お知らせ



健康診査日程

【12・1月分】

乳幼児健診・健康相談

■1歳7～8か月児

(H28・4生) 健診

12月13日(水) 午後0時

30分～午後0時45分受付

(宮之城保健センター)

■7～8か月児

(H29・4生) 育児相談

12月15日(金) 午前9時

～午前9時15分受付

(宮之城保健センター)

■3歳児

(H26・10生) 健診

12月20日(水) 午後0時

30分～午後0時45分受付

(宮之城保健センター)

■2歳3か月児

(H27・9生) 歯科健診

1月11日(木) 午後0時

30分～午後0時45分受付

(宮之城保健センター)

■すくすく相談

1月12日(金)

午前9時～午前10時受付

(宮之城保健センター)

■Hugくみるーむ

(2か月児とママのための

育児相談) (H29・10生)

1月16日(火) 午前9時

45分～午前10時受付
(宮之城保健センター)

■4か月児

(H29・8生) 健診

1月17日(水) 午後0時

30分～午後0時45分受付

(宮之城保健センター)

■母子健康手帳交付

・12月25日(月)

午後1時30分～午後3時

受付(役場本庁2・A)

・1月15日(月)

午前9時30分～午前11時

受付(役場本庁1・B、

1・C)

※妊娠届出書・健康保険

証・マイナンバーカード・

印鑑をお持ちください。

■むし歯予防の日

(フッ化物塗布)

12月13日(水)

12月20日(水)

1月11日(木)

午後3時～午後4時受付

(宮之城保健センター)

■えほんの森

身長・体重測定

1月26日(金)

午前10時～午前11時受付

(こども図書館 えほんの森)

■お問い合わせ先

子ども支援課 子ども健

康係(内線2141)

シルバー人材センター 新規入会説明会

人生の豊富な知識と経験を活かし、生涯現役社会の実現と生きがいの一助とされたい方は一緒に働きましよう。

派遣事業の運転業務従事者(70歳までの大型1種・大型2種免許所持者)を大募集中です。

■日時

12月19日(火)

午前9時～午前11時30分

■会場

シルバー人材センター

■対象者

60歳以上の町民

■お問い合わせ先

町シルバー人材センター

☎(52) 3363

12月4日から10日は 人権週間

みんなで築こう人権の世紀
考えよう 相手の気持ち
育てよう 思いやりの心

人権週間は、昭和23年12月10日の国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定めら

れました。今年で68年目を迎え、全国各地で人権に関する各種の啓発活動が実施されます。

本県でも、期間中、テレビやラジオによる啓発放送や、鹿児島市のデパート山形屋での人権に関するポスターコンクール入賞作品展の開催など、様々な人権啓発活動を実施します。

《拉致問題の解決に向けて》

また、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する認識を深め、国際社会と連携しながら実態を解明し抑止を図るため、毎年12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」としています。

拉致問題の解決には、県民一人一人の声が何よりも強い力となるとともに、被害者やご家族の大きな心の支えになります。

この機会に、皆さんも身近なことから人権について考えてみませんか。

■お問い合わせ先

・県庁人権同和対策課

☎099(286) 2574

・県庁社会福祉課

☎099(286) 2828

敬老商品券の 利用は早めに！

80歳、90歳になられた皆さまに贈呈しました「敬老商品券」の有効期限は、平成30年2月28日までです。

まだ使用され

ていない方は、

町内のお店でお

早めにご利用く

ださい。

■お問い合わせ先

高齢者支援課 高齢者支

援係(内線2172)



固定資産税に 関するお知らせ

《家屋を新築された方へ》

本年中に家屋(倉庫、車

庫含む)を新築または増築

された方は、税務課資産税

係にご連絡ください。来年

度以降、固定資産税の課税

対象となる場合があります。

《家屋の解体後は届出を》

本年中に家屋を取り壊し

た方は、本年中に「家屋減

失届出書」を税務課資産税

係へご提出ください。届出

がないと来年度以降も課税

される場合があります。

《償却資産(固定資産)の
申告をお願いします》

■償却資産とは

個人または法人で工場や商店を経営している方が、その事業のために用いることができる構築物、機械、装置、工具、備品など(土地・家屋除く)のことです。

■申告が必要な方

平成30年1月1日現在、

町内で事業を営んでいる個人または法人

■申告期限

1月31日(水)

■申告方法

昨年申告のあった方には

申告用紙を郵送しています。

新たに申告する方や申告用

紙が届かない場合はご連絡

ください。

※償却資産の課税標準額の

合計が150万円未満のと

きは課税されません。

※太陽光発電設備を事業用

として設置し、発電電力を

全量売電または自家消費し

ている場合などは固定資産

税(償却資産)の課税対象

となり、償却資産の申告が

必要です。なお、住宅等太

陽光発電設備(低圧かつ10

kW未満)を除きます。

■お問い合わせ先

税務課 資産税係

(内線2116)

優良運輸事業者を 活用しましょう

九州運輸局では、国や関

係事業者団体が実施する安

全面や環境面で優良な事業

者を認定・認証する制度を

周知し、関連情報を提供す

ることで、優良事業者の利

用促進に取り組んでいます。

これにより、運輸事業者に

おいても安全確保や環境保

全に対する取組や意識の向

上につながり、利用者にと

ってもより一層安全・安心

な運輸サービスの提供を受

けることが期待できます。

各認定・認証制度の趣旨

今月の納税など

- ・固定資産税第4期
- ・国民健康保険第6期
- ・後期高齢者医療保険第6期
- ・介護保険第6期
- 【納期限12月25日】
- お問い合わせ先
- 税務課 収納係
- (内線2113)



心配ごと相談所

毎週木曜日
午前10時～正午
宮之城ひまわり館
■お問い合わせ先
町社会福祉協議会

☎(52) 1123

10月の火災・救急情報

火災		救急	
◆発生件数	1件	◆出動件数	94件
ドクターヘリ	◆発生件数	運んだ人	90人
		◆内 訳	
		急 病	50件 48人
◆発生件数	8件	交通事故	6件 5人
運んだ人	6人	その他	38件 37人



て、陽子線治療を受ける患者本人や家族などが治療費を金融機関から借り受けた場合に、その利子の一部を助成します。

■対象借入金

銀行等からの借入金のうち陽子線治療料相当額

※限度額：288万3千円

■利子補給率

・住民税非課税世帯：年利

率(6%以内)の100%

・世帯全員の課税総所得金

額が600万円未満：年利

率(6%以内)の50%

■利子補給期間

最大5年

※詳しくは、県のホームペ

ージをご覧ください。

■お問い合わせ先

県庁地域医療整備課

☎099(286) 2693

宮之城吹奏楽団 クリスマスコンサート

クリスマスソングや演歌などの演奏やお楽しみ抽選会が行われます。入場は無料です。

【日 時】

12月24日(日)午後2時30分～

【場 所】

宮之城文化センター ホール



【お問い合わせ先】
090-8289-1889 (担当：知識)

今月の読者プレゼント

お便り

募集中



町の農産物でできた
さつま町の

無添加ドレッシング
2本セット



※種類は選べません。

広報さつまにお便りをお寄せくださった方の中から、**5名様**にプレゼント。
たくさんのご応募お待ちしております♪

応募方法

はがきに、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号、ペンネーム（記入のない場合は実名で紹介）を記入し、次の宛先までお送りください。

〒895-1803
さつま町宮之城屋地 1565-2
さつま町役場 広報さつま 行

【応募締切】12月31日（日）当日消印有効

※個人情報の取扱い
ご記入いただいた個人情報は、お便りのご紹介・賞品発送以外の目的では使用しません。

広報紙をご覧になった感想や今後取り上げてほしい記事、皆さんの身の周りで起こった出来事、イラスト、写真など、たくさんの方の声を聞かせください。

お便り紹介

う あっすこい！尾づくんちの堆肥を入れたら、こんなに大きなさつまいもがとれたよ！食べられるかなあ。



（佐伯秀雄さん 男性）

本当に立派なさつまいも！いろんな調理法にチャレンジできますね。個人的には天ぷらが好きです。（秘書広報係・愛甲）

先 日、本棚の整理をしていたら、30年くらい前の本が出てきました。その中に「九州はどうして七県しかないのに九州というの？」という記事がありました。知らない人が見たら驚くだろうなと思いました。（久保園誠さん 男性）

子どもの頃、私も疑問に思っていました。気になった方はぜひ調べてみてください。（秘書広報係・内）

年末

年末が楽しみですね。季節によりですが、11種類ありますので、いろんな味を試してみてください。（秘書広報係・愛甲）

来 年の干支は戌。何を隠そう年女です。健康に過ごせることがありがたい年齢に差し掛かってきましたが、元気に明るく一歩前進できる年にしたいと思っています。思い立ったが吉日！と新しいことに挑戦し、人との繋がりをもっとも大切にできる人生にしたいです。（ギョムたん 女性）

あっという間に新しい年がやって来ますね。私は何事にも余裕を持って、心穏やかな年になりたいです。（秘書広報係・内）

※お便りありがとうございます。文章は、紙面の都合上、添削させていただきます。ご了承ください。

表紙の写真説明

11月12日に行われた町駅伝競走大会。9チームがそれぞれの地区の誇りをかけて力走しました。写真はBクラス優勝に輝いた薩摩チーム。様々な年代の選手たちが襷をつないでいく様子もこの大会の見所のひとつ。襷をしっかりと握り、颯爽と駆け抜けていく選手たちがとてもカッコ良かったです。（内）



広告

出水法律事務所

弁護士 米田圭吾（鹿児島県弁護士会所属）

鹿児島県出水市昭和町 3-24

0996-79-3535

初回の相談料は
1時間まで無料です

月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時まで

相続、離婚、借金、労働、交通事故、その他幅広い分野を取り扱っております。お困りのことについて、お気軽にご相談ください。まずは、お電話でご予約ください。

●お問い合わせ：さつま町役場 TEL 0996 (53) 1111 FAX 0996 (52) 3514

■くらしの情報

国民年金

年金相談（要予約）

年金加入記録や受給手続き（老齢年金・遺族年金請求）などについての移動年金相談所を開設します。

申込みの際に、相談者氏名（旧姓）・配偶者氏名（旧姓）・基礎年金番号・連絡先・相談内容等をお知らせください。

◎必ず相談時間を確認（予約）し、予約した10分前にはご来場ください。

◎受給手続きの方は、事前に「ねんきんダイヤル」で必要書類をご確認ください。

■当日必要なもの
・本人確認書類（免許証等）

・代理の場合は、委任状と委任を受けた方の本人確認書類（免許証等）

※委任状は所定の様式があります。日本年金機構ホームページからダウンロードするか、川内年金事務所、役場本庁町民係、各支所町民福祉係までお問い合わせください。

・ねんきんダイヤル
☎0570(05)1165

（一般の固定電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。）

・川内年金事務所
☎0996(22)5276

（自動音声案内①↓②）
・日本年金機構ホームページ
<http://www.nenkin.go.jp/>

相談日時

1月16日（火）

午前10時から
午後3時30分まで

相談会場

役場本庁1階

相談室B

申込期間

12月20日（水）から

1月9日（火）まで

申込み・お問い合わせ先

町民環境課 町民係
（内線2123）



民間事業者による 国民年金保険料の ご案内

日本年金機構では、国民年金保険料を納め忘れた方に対して、電話・文書・個別訪問による納付のご案内や、免除などの申請手続きのご案内を民間事業者へ委託しています。平成29年10月からは、鹿児島県内の事業者、日立トリプルウィン・NTT印刷共同企業体となります。

※民間事業者は、日本年金機構が発行した納付書により最寄りの金融機関やコンビニエンスストアでお支払いしていただくようご案内します。平成29年7月13日以降、民間事業者の訪問員による収納業務を中止していることから、現金をお預かりすることはありませんので、振り込み詐欺などにはご注意ください。

お問い合わせ先

日立トリプルウィン・NTT印刷共同企業体
☎0120(211)231

11月子牛せり市結果 期日：11月10日（金）～11日（土）（消費税抜き、売却分）（単位：頭・円・kg）

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比（対10月分）
めす	228	174,116,000	1,530,000	763,667	283	67,983円高値
去勢	305	257,414,000	1,403,000	843,980	313	70,863円高値
合計	533	431,530,000	1,530,000	809,625	300	71,103円高値



広告

学校クリスマス & 学校説明会

12/16（土）9:00～12:30

聖劇、ハレルヤコーラスなどカトリック校ならではのクリスマス会です。説明会では、本校の教育の特色や入試について詳しく説明いたします。ぜひご参加ください！

カトリック女子校

<http://www.okuchimeiko.ac.jp>

大口明光学園中学校・高等学校
☎0995-22-0609



広告

墓石

納骨堂

銘碑の彫り込み

墓石・納骨堂 解体・撤去

お墓のリフォーム



確実な信頼と永年の実績を誇る

鳥居石材店 鳥居通

さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189

卒業後もさつま町に居住する方へ

さつま町奨学金

返還支援制度が始まります

町では、定住施策の一環として、平成30年度から新たにさつま町奨学金を受けて高校・大学などに進学した方が、一定の条件を満たす場合、卒業後に返還した奨学金に対して補助金を支給する制度を創設します。

【対象者】

次の全てを満たす方

- ・平成30年4月1日以降に新規でさつま町奨学金を受けて進学した方
- ・定められた期間内に奨学金を返還した方
- ・1年以上継続して町内に住所を有し、居住している方

【補助金額】

さつま町奨学金貸与規則により定められた年間額を限度額とし、返還期間内に返還された奨学金に相当する額

【返還支援の流れ】

- ①さつま町奨学金の申込み（平成30年度以降に新規貸付決定分から対象）

②奨学金借用

③奨学金返還（卒業6か月後から返還開始）

④奨学金返還支援の申請（平成31年4月以降受付）

⑤審査

⑥前年度の返還実績を補助金として支給（上限あり）

■奨学金返還支援制度創設に伴い、奨学金貸与制度を拡充します

- ・高等学校の公立・私立の区分をなくし、いずれも貸与額を月額2万円以内とします。
- ・県立農業大学校は、貸与額を月額2万2千円以内から3万円以内に増額します。

【貸与条件】

所得基準、学業成績要件（学校長推薦）があります。※その他の条件など、詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ先

教育総務課 総務係（内線2511）

町長の動静（平成29年10月）

※主な会議及び行事

1日（日）	鶴田小学校・鶴田幼稚園運動会	▽宮之城屋地区・平川区運動会
2日（月）	辞令交付式及び紺屋副町長退任式	
3日（火）	辞令交付式及び上野副町長就任式	
5日（木）	来客対応（鹿児島地方事務局川内支局課長補佐、永野区平川区公民館長ほか）	「木の日」要望（川薩地区林材協会、北薩地域振興局）
6日（金）	企画財政課協議	▽南求名分団消防自動車納車検査
7日（土）	上宮保育園運動会	
8日（日）	町民体育祭	
10日（火）	衆議院議員選挙公示日	
11日（水）	子牛せり市	▽市町村職員共済組合職場経営業務懇談会
13日（金）	課長会	▽鹿児島建設新聞取材
14日（土）	出水市新庁舎落成式（出水市）	
15日（日）	第10回町公設市場まつり	
16日（月）	代表監査委員協議	▽指名推薦委員会結果報告受
17日（火）	県町村会定期総会（18日まで）（与論町）	
19日（木）	企画財政課・建設課協議	▽来客対応（薩摩川内市長）
20日（金）	職員朝会	▽課長会（台風21号対策）
21日（土）	広瀬道現地調査（国道504号）	さつま警察署管内防犯少年バレーボール大会
22日（日）	衆議院議員選挙投票日	
23日（月）	国道328号ほか3期成会による県土木部への合同要望（鹿児島市）	
24日（火）	北薩空港幹線道路整備促進期成会県副知事要望（鹿児島市）	
25日（水）	県戦没者追悼式	▽町女性団体連絡協議会との意見交換会
26日（木）	来客対応（自衛隊鹿児島地方協力本部副本部長、薩摩川内出張所長）	農業者委員会・子ども支援課各課協議
27日（金）	農業者委員会・子ども支援課各課協議	
28日（土）	中核市サミット2017 in鹿児島（鹿児島市）	▽異業種交流会
29日（日）	課長会	▽行政改革本部会議
30日（月）	宮之城病院大運動会	▽水道事業入札
31日（火）	県国有林野等所在市町村長有志協議会（鹿児島市）	▽商工業新規参入者支援補助金交付式
	川内川大鶴ゆうゆう館ランドオープン記念式典	▽町障害福祉計画策定委員会
	曾木の滝・大鶴川内川DMO協議会懇談会（伊佐市）	

町民体育祭

10月8日、町民体育祭であいさつを行いました。



ゆうゆう館開館式典

10月31日、川内川大鶴ゆうゆう館ランドオープン記念式典で式辞を述べました。（関連は2ページ）



誕生おめでとう

10月16日～11月15日届出分（14人） 敬称略

あかちゃん	性別	保護者	公民会
下麦	清華	女	大志
紫村	楓雅	男	展幸
長濱	一葉	男	一博
西別府	花鈴	女	明博
久保	明奈	女	祐也
外室	快成	男	聖
大田	琴音	女	翔太郎
鉦之原	優奈	女	和也
高橋	周嶺	男	改太
尾寄	維愛	女	丈浩
若森	優月	女	佑紀
村田	凛花	女	健一
杉元	彰仁	男	大輔
森永	結月	男	慎也

おくやみ申し上げます

10月16日～11月15日届出分（24人） 敬称略

なくなつた人	年齢	公民会等
三浦	次雄	64
吉岡	吉助	75
山口	クニ	85
長福	みどり	59
市来	秀幸	67
上天	迫光志	89
岸良	義行	76
井上	カズ子	87
村山	三榮子	78
久木	元秋治	87
木下	美代子	85
若森	正一	64

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

1歳で～す

毎月1番最初に生まれた赤ちゃん

ひがしその あさひ
東園 旭ちゃん
平成28年12月9日生



船木下公民会

父 大 地 さん
母 瑠 美 さん

両親から一言
強く りりしく
たくましく育てほしい

地域おこし協力隊 隊員第2号 川西さん

プロフィール

川西 大輔（かわにし だいすけ）38歳
広島県出身、妻と息子の3人暮らし
趣味はバンドと野球観戦
（もちろん広島東洋カープファン!）

コメント

さつま町のみなさん、はじめまして！11月から地域おこし協力隊としてさつま町にやってきました。もうすでに、よそから来たうちの家族を受け入れて、優しくしてくださっている方々にいつも感動しています。

まずは町のことを知るために町内のいろんな場所に出向いています。見かけたら気軽に話しかけてくださいね♪着任したばかりですが、僕の視点で町の魅力を発見し、全国に発信していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

Chiikiokoshi



いいね! コメント シェア

フェイスブック

<https://facebook.com/satsumachiikiokoshi/>
アカウント
さつま町地域おこし協力隊
@Satsumachiikiokoshi



いまべっふ は な
今別府 巴南 さん
薩摩中学校3年

学ぶ喜びを伝えたい

私の夢は、学校の先生になることです。学校の先生になり、子どもたちに学ぶことの楽しさを伝えたいです。私は、勉強は得意ではありません。「勉強なんてやりたくない」と思うときもあります。しかし、分からなかったことが分かるようになったり、難しい問題が解けたりしたときは、勉強することがとても楽しいと感じます。苦手な科目などができたときは、さらに学ぶ喜びを感じます。私は自分が感じたこの感覚を、子どもたちに伝えたいです。

竹紙を使用しています
(竹パルプ 10%配合)

休日在宅医

12 月

10日	薩摩郡医師会病院	☎ 53-0326
17日	林田内科	☎ 53-1177
23日	相良医院	☎ 53-0160
24日	クオラリハビリテーション病院	☎ 53-1704
30日	木原医院	☎ 52-2700
31日	稲津病院	☎ 52-3355

1 月

1日	薩摩郡医師会病院	☎ 53-0326
2日	てらだ内科クリニック	☎ 21-3232
3日	さつまクリニック	☎ 57-0020
7日	さくらクリニック	☎ 53-1451
8日	小緑内科	☎ 52-1676

休日当番薬局

12 月

10日	青空薬局	☎ 52-0101
17日	ウチ薬局	☎ 53-0063
23日	うさぎ薬局	☎ 52-4116
24日	my薬局さつま	☎ 29-3100
30日	みやんじょ薬局	☎ 52-4650
31日	やまだ薬局	☎ 52-4585

1 月

1日	青空薬局	☎ 52-0101
2日	さし薬局	☎ 21-3610
3日	ウチ薬局	☎ 53-0063
7日	うさぎ薬局	☎ 52-4116
8日	かぐや姫薬局	☎ 29-3301

わたしたちの町

推計人口による

人 口	21,433人 (8人)
男	9,994人 (-2人)
女	11,439人 (10人)

世帯数 9,460世帯

転入	51人	転出	29人
出生	12人	死亡	26人

(平成29年11月1日現在)

() は前月対比

※休日在宅医や薬局は、都合により変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。